

婦人と子ども

第十三卷 第十一號

子供から學べよ

—
幼兒教育に多くの基礎的知識を必要とすることは、前號『保姆論』にも説いた通りである。しかし、子供の心性を知るといふも、子供を如何に取扱ふべきかの方法を知るといふも、本や講義からのみ學ぶことではない、もとはと言へば、いふまでもなく子供から學ぶことである。

『子供から學べ』といふことは、フレーベルが幼兒教育者に與へた最大なる格言の一つである。のみならず、フレーベル自身が其の實を體證して居るのである。蓋しフレーベルの彼の教育的創見は、素より彼れの偉いなる天才によることであるには相違ないが、一つに彼れがよく子供に學んだ結果であるといへる。幼稚園教育の第一原理たる『自

己活動』の論は、フレーベルの頭から繰り出されたものでもなく、天から天^{あま}くだり、地から湧き上つたものでもない。又古典から漁り得たものでも勿論ない。たゞよく子供から學んだのである。『自己活動』の第一原理に基いて、其の教育方法として用ゐられた遊戲でも手技でも、乃至いろいろの教育玩具でも、いづれも皆子供から教へられ、子供自身の生活から思ひついたものである。此の意味に於て、フレーベルの師はシェリングでもなく、ベスタロツチでもなく、實に子供であるといつてもよい。

フレーベルのみではない。教育上の偉大なる創見は、すべて、子供から學んだものゝみである。若し、それが、子供以外のものから出た知識理窟で

あるときには、大低失敗であることが多い。即ち、少しく奇に過ぎた言ひ方をするようではあるが、子供は先づ教育者に教へて、それで自分を教育させるのであると言つてもよい。

此頃多くの人の注意と敬服との的となつて居るモンテッソーリの教育意見及びその考案なるものは、人々は如何にもモンテッソーリの創見として感心して居る。成る程それにも相違ない。しかし、モンテッソーリの偉大なる處は、その羅馬大學に於ける學問よりも、セガン其他の研究よりも、よく子供に學び、子供の教ふる通りを忠實に實行した處にある。

二

吾人の許へ來て、如何にせば子供及び其の教育法が充分理解せらるべきやと問ふ人が屢々ある。

而して、たゞ吾人から參考書の數種と、吾人の意見とを聞き取つて満足しようとする人が屢々ある。

それが教育上の純門外漢であるが、始めて教育に従事し始めたといふ人々ならば別に不思議もないが、幼稚園教育に従事すること既に數年、長い月日の經驗を履んで來た人に、それが多いのである。

から驚く。吾人はそういふ人々に對して言ひたい。あなたは、本よりも吾人よりも立派なる先生（子供）を常に澤山有して居らるゝにあらすやと。之れは皮肉でも何でもない。

幼稚園教育法に活潑な進歩が少なく、適切な新考案の出づること少ないのは、實際家が多くは講義及び書籍等の所謂傳承的知識にのみよらるゝからである。言ひ換ゆれば、直接に兒童より學ぶことによつて得る直傳的知識によられないからである。傳承的知識は假令精確であつても、固定的であり靜的である。そこから新しい着眼、新しい試みが湧き出て來るような動的な處が缺け易い。理論は立つ、しかし活用は少い。

我國に、實際直接によく子供から學ぶ教育者の多く出ない中は、我國の幼稚園教育は何時迄も此の無生氣と不活動とを脱し得ない。其反對に、一人でもよく此の態度をとることの出來る人があつたら、兒童は其の無限なる寶庫の秘鍵をその人に托して、その人を用ゐて、我國を用ゐて、世界の幼稚園教育に大いなる活氣と知識とを惜む處なく豊かに與へるであらう。